


高齢化が進行する中山間地域において、人流・物流を確保するため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの2020年までの社会実装を目指し、貨客混載や観光などの地域の特色を踏まえたビジネスモデルの検討を、産学官連携で行うことを目的とする。

開催時期		検討内容
H29. 7. 31	第1回検討会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 検討会の趣旨、実験概要説明</li> <li>○ 公募型実験箇所の選定結果報告</li> <li>○ 今後の進め方</li> </ul>
	3回程度開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 委員からのビジネスモデルの提案(ヒアリング)</li> <li>○ 各実験地域のビジネスモデルのヒアリング</li> <li>○ 実証実験の報告</li> </ul>
H30夏頃	中間とりまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <b>自動運転に対応した道路空間活用のあり方</b> (路車連携技術、走行空間、道の駅等の拠点空間 等)</li> <li>② <b>中山間地域のニーズを踏まえた自動運転車両技術等のあり方</b> (サービスに併せた車両の性能や機能、事故等のリスクへの対応 等)</li> <li>③ <b>道の駅等を拠点としたビジネスモデルのあり方</b> (運営形態、採算性確保の方策、他事業との連携 等)</li> </ul>